

誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本

第46回

全国育樹祭

— いばらき 2023 —

第46回 全国育樹祭 併催行事

全国緑の少年団

活動発表大会

開催の記録

主催：茨城県・公益社団法人国土緑化推進機構

## 開催の概要

「第46回全国育樹祭」の併催行事として、全国から選ばれた緑の少年団による日頃の特色ある地域活動の発表のほか、オープニングアトラクションや特別講演などを行い、少年団相互の交流と活動の促進を図りました。

**主 催** 茨城県、公益社団法人 国土緑化推進機構

**開 催 日** 令和5年11月11日（土）

**開催場所** [活動発表大会] 茨城県鹿行生涯学習センター  
[交流集会] 茨城県立白浜少年自然の家

## 行事内容

- 12:00~13:00** 開場・受付
- 13:10~13:30** オープニングアトラクション  
(北浦童太鼓保存会・藤井瑛子氏による 演奏)
- 13:38~13:58** 団旗入場  
主催者あいさつ  
歓迎のことば  
来賓紹介  
励ましのことば
- 14:03~15:09** 講評者紹介  
発表方法の説明  
少年団活動発表
- 15:17~16:02** 特別講演 『森林から川、海へ～自然が教えてくれること～』  
国立大学法人東京海洋大学名誉博士・客員教授 さかなクン氏
- 16:12~16:27** 活動発表講評  
みどりの奨励賞表彰 (少年団表彰)  
緑の少年団育成成功労賞表彰
- 16:27** 閉会のことば
- 17:00~** 交流集会

## 目次

◆開催状況	4
◆オープニングアトラクション	5
◆団旗入場	6
◆主催者あいさつ	7
◆歓迎のことば	9
◆励ましのことば	10
◆来賓・講評者	11
◆活動発表	
活動発表1 会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団（福島県）	12
活動発表2 生瀬緑の少年団（茨城県）	15
活動発表3 ガールスカウト都留緑の少女隊（山梨県）	18
活動発表4 付知南小学校みどりの少年団（岐阜県）	21
活動発表5 梨の木小みどりの少年団（愛知県）	24
◆特別講演	27
◆講評	28
◆みどりの奨励賞表彰（少年団表彰）	30
◆緑の少年団育成功労賞表彰	31
◆閉会のことば	32
◆緑の少年団参加一覧	33
◆県内緑の少年団活動紹介パネル	34
◆交流集会	36



# 開催状況



鹿行生涯学習センター



受付の様子



緑の少年団活動発表大会会場の様子



茨城県内緑の少年団活動紹介パネル



司会の高田恵仁さん



来場者への配布物



## オープニングアトラクション

きたうらわらべ

### 北浦童太鼓保存会

結成24年目を迎える和太鼓のグループです。幅広い年齢層のメンバーが参加しており、行方市をはじめ地域のイベントや施設への慰問などを中心に活動しています。これまで沢山のひとと出会い、切磋琢磨しながら日々変化してきました。その全てが、今の北浦童太鼓へと繋がっています。



ふじい えいこ  
藤井 瑛子 さん

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。ピアノを生出寛子・上仲典子・米元えりの各氏に、音楽学を中内詢子・寺本まり子・大角欣矢の各氏に師事。現在自宅にてピアノ教室を主宰する傍ら演奏活動を行っています。生涯楽しめる音楽をコンセプトに、幅広い世代に向けた指導や企画を展開しています。





# 団旗入場



## 主催者あいさつ



公益社団法人 国土緑化推進機構  
副理事長

まえだ なおと  
前田 直登

皆さん、こんにちは。ただいま御紹介いただきました、国土緑化推進機構の副理事長をしております前田です。

本日、第46回全国育樹祭の併催行事であります、全国緑の少年団活動発表大会がここ行方市の茨城県鹿行生涯学習センターにおいて開催できますことを主催者の一人といたしまして、大変うれしく思います。また、大変御多忙の中、林野庁の青山長官、行方市の鈴木市長をはじめ、多くの御来賓の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。

さて、緑の少年団の皆さんは、地域における森づくりなどの緑化活動に大いに活躍され、緑の募金にも大変な御協力をいただいております。こうした取り組みは地域で高く評価されておりまして、感謝されております。今後も緑の少年団活動を通して緑化運動の大きな力となっていただくことを願っております。

森林は、地球温暖化の防止や生物多様性の保全といった地球レベルの役割から、自然災害の防止や木材の供給といった生活レベルの役割まで大変幅広い機能を有しております。今後の学校教育の場においては、こうした森林について、体験する・調べる・考えるといった学びを通じて、森林がもっと活用されることを期待しております。緑の少年団の皆さんには、この学びを実践している模範としていっそうの御活躍を期待しております。

本日活動発表をしていただきますのは、これまでの活動状況や成果が特に優れた少年団として全国から選ばれました5団の皆さんです。元気いっぱいにご活動の成果を発表してください。

また、本日表彰をお受けになる緑の少年団育成成功労者の方々には、平素から緑の少年団の育成指導に御尽力をいただいております。この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

最後になりましたが、活動発表大会の開催に当たり御尽力を賜りました、茨城県の御当局をはじめ、関係者の皆様にご御礼を申し上げます。御挨拶といたします。



## 主催者あいさつ



### 茨城県副知事

よこやま まさなり

## 横山 征成

皆さん、こんにちは。御紹介いただきました、茨城県副知事の横山でございます。主催者の一人として一言御挨拶をさせていただきますと思います。

緑の少年団の皆さん、そして保護者や指導者の皆様、ようこそ、茨城県へいらっしゃいました。そして、本日はお忙しい中、林野庁の青山長官、地元・行方市の鈴木市長をはじめといたしまして、多くの御来賓の皆様にご出席いただき、厚く御礼を申し上げます。

また、この後、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、本大会がここ茨城県で開催できますこと、私ども茨城県民といたしまして、誠に光栄であり、この上ない喜びであります。

本日の発表大会は、全国各地から集った5つの少年団の皆さんに、日ごろの活動の成果を発表していただくということでございます。皆さんの思いのこもった素晴らしい発表を楽しみにしてございます。

さて、ここ茨城県でございますけれども、温暖な気候や豊かな自然に恵まれておりまして、皆さんもきっと大好きな栗やメロン、そして茨城の名産干し芋はここ行方が本場です。そしてレンコンなど豊富な野菜などもございます。

多くの品目で生産量日本一を誇る農業県でございます。農業の生産額は全国第3位です。魚とかタコや貝なども豊富で、海での漁獲量も全国第2位を誇っています。皆さんが普段口にするおいしい食べ物の中には茨城県の食材がたくさんあるんじゃないかと思えます。

林業につきましても、茨城県の北部大子町や常陸大宮市、常陸太田市などを含みます八溝地域というところを中心に良質なスギやヒノキを産出しており、関東で有数の素材生産量を誇っています。首都圏への木材供給地としての役割を担っているところでございます。

さて、この度、第46回全国育樹祭では、こうした取り組みを踏まえまして、「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」ということを大会テーマにして、本日、潮来市の茨城県水郷県民の森では「お手入れ行事」を開催。そして明日は水戸市のアダストリアみとアリーナという会場で「式典行事」を行うことになっております。本日のこの式典も含め、こういうような行事を通じて、未来につながる新しい林業の姿をここ茨城県から全国に向けて力強く発信していきたいというふうに考えております。

この国の将来を担う皆さんには、本大会の参加を通じて全国の緑を愛する仲間たちとの交流を深めていただければと思います。そして、皆さんの活動が未来の森林・林業・森づくりにつながっていくことを大いに期待しているところでございます。

結びに全国の緑の少年団のさらなる御活躍と御参集の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



## 🌿 歓迎のことば



行方市長

すずき しゅうや

鈴木 周也

皆さん、こんにちは、ただいま御紹介いただきました、行方市長の鈴木周也です。よろしくお願いいたします。

ようこそ、茨城県行方市へお越しいただきましてありがとうございます。行方市を代表いたしまして、一言御歓迎の御挨拶を申し上げさせていただきますと思います。

本日は秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎながら、全国緑の少年団活動発表大会がここ行方市におきまして盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地から御参加いただきました緑の少年団の皆様を心から歓迎申し上げます。

緑の少年団は緑に親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じまして、ふるさと、そして人を愛する豊かな心を育むことを目的に、1960年から各地で結成されまして、現在団体数にして3000余り、約32万人の児童生徒の皆さんが緑化活動を実践されていると伺っております。

本日は全国から選ばれました少年団が一堂に会し、日常活動の発表を行うことで、相互に研鑽を図るための大会であります。本大会が皆さんの今後の活動の糧となり、また励みにつながりますことを願っております。

さて、茨城県行方市は、はるか昔より霞ヶ浦と北浦という大きな湖の自然の恵みを受けまして、豊かな水とともに生活や産業を発展させてまいりました。特にサツマイモ栽培をはじめといたします、農畜産産業やシラウオ・ワカサギ漁を中心とした水産業が盛んであります。今や首都圏の食料供給基地といたしまして、産地化を図りながら、年間を通して100品目以上の農産物を生産している場所であります。

皆さんが行っています緑化活動と私どもの作業には深いつながりがございます。森林からの水の流れによって、山の栄養分や有機物が湖に供給され、そしてこの供給された栄養分などが豊かな漁場や漁業資源を形成し、また農業に適した肥沃な土壌をつくる水源となります。

また、森林におきまして、この漁場においては船が必要になります。この船を作るものは木材です。木材がないと漁業ができないという時代がございました。このような森林と水がつながること、これが皆様方の活動の中で一番大切なものではないかというふうに思います。そういった命を支える地域であると思っております、非常にありがたいと思います。

皆さんにおかれましては、今後とも緑化や自然環境の保全活動に積極的に取り組んでいただき、森・里・川・湖・海、この恵みを支え、豊かな自然を未来へつなげていただきたいと思います。

結びとなりますけれども、本大会の開催に当たり御尽力いただきました、関係者の皆様方に深く感謝の意を表しますとともに、御参集の皆様方の益々の御活躍と御健勝を御祈念申し上げまして、歓迎の御挨拶とさせていただきます。

本日の開催誠にありがとうございます。

## 励ましのことば



林野庁長官

あおやま とよひさ

青山 豊久

皆さん、こんにちは。林野庁長官の青山です。

本日、ここ茨城の地で全国緑の少年団活動発表大会が開催され、全国からたくさんの緑の少年団の皆さんに集まっていたことを心から嬉しく思います。

皆さんは日頃の活動や学校の授業を通じて、森のはたらきや森づくりの大切さを学ばれているかと思います。森は地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収し、洪水や山崩れなどの災害から私たちを守り、私たちが生きていく上で欠かすことのできないおいしい水やきれいな空気を作ってくれています。

また、私たち人間がリラックスする場となり、多くの生き物たちのすみかにもなっています。さらに、森から生み出される木材は、建物や家具の材料や燃料としても利用されます。このような森のはたらきをしっかりと発揮してもらうためには、森が元気でなければなりません。

皆さんが地域の方々の協力を得ながら、森や緑の大切さを積極的に学び、先輩から引き継がれてきたさまざまな取り組みにより森を元気にしてくれていることをとても心強く思っております。

今回の発表では、緑の少年団の皆さんが日頃から取り組んでいる地域での森づくりや環境保全の取り組み、森と地域の産業や暮らしとのかかわりを学ぶ活動などについて発表されると聞いています。

皆さんの活動は、どれもみんな森や緑を守ることにつながるとても大切なものであり、そこで守られた森や緑は将来にわたって私たちの貴重な財産となるはずです。緑の少年団は全国で3000以上の団体があり、30万人を超える団員が活動しています。皆さんには今回発表される少年団の活動も参考にしながら、地域の方々と力を合わせて森を守り、育て、未来に引き継いでいただきたいと思います。

最後に、緑の少年団の育成に御尽力されている全国各地の皆様、本大会の開催に御尽力いただいた全国緑の少年団連盟の皆様、地元の茨城県の皆様、そして国土緑化推進機構をはじめとする大会関係者の多くの皆様に心から感謝を申し上げ、励ましの言葉といたします。



## 来賓・講評者

### 来賓

林野庁長官

あおやま とよひさ

青山 豊久

行方市長

すずき しゅうや

鈴木 周也

行方市議会議員

みやうち まもる

宮内 守

林野庁関東森林管理局森林整備部長

かわなみ あきこ

川浪 亜紀子

### 講評者

林野庁森林利用課長

ふくだ じゅん

福田 淳

林野庁関東森林管理局森林整備部長

かわなみ あきこ

川浪 亜紀子

茨城県教育委員会学校教育部長

やぎはし つねき

柳橋 常喜

公益社団法人

国土緑化推進機構専務理事

おき しゅうじ

沖 修司



行方市議会議員  
宮内 守



林野庁森林利用課長  
福田 淳



林野庁関東森林管理局  
森林整備部長  
川浪 亜紀子



茨城県教育委員会  
学校教育部長  
柳橋 常喜

